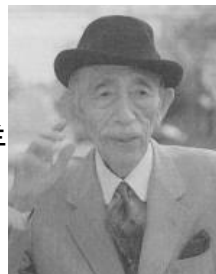


益田 喜頓(ますだ きいとん)さんのプロフィール【1909年～1993年】

本名 木村 一。

明治42年9月11日、函館市青柳町に生れる。

北海道庁立函館商業学校時代は野球部で活躍し、後に名門“函館太平洋倶楽部”にも在籍したことがある。その後、浅草へ進出し、吉本興業へ入る。



昭和11年、川田義雄・芝利英・坊屋三郎らと「あきれたぼういず」を結成。

ジャズや流行歌の替え歌からパロディ、ギャグで一世を風靡した。32年、東宝演劇部に入社、菊田一夫脚本・英国「チップス先生さようなら」の日本版「がっこの先生」やミュージカル「マイ・フェア・レディ」などに出演し、毎日芸術賞・演技賞を受賞する。そして、「王様と私」「屋根の上のヴァイオリン弾き」と次から次へとブロードウェイ・ミュージカルに出演する。「屋根の上のヴァイオリン弾き」の司祭役では、42年の初演以来907公演に出演し、日本ミュージカルの育て親の一人でもある。

平成2年、ふるさと函館に“永住帰郷”する。帰郷後は、仕事の傍ら講演活動なども行い、他にも「野外劇」のナレーション、函館ミュージカル劇場が6年に公演した「案山子物語」の原案をつくるなど市民の中に溶け込み活動を共にしていたが、公演本番を待たずして平成5年12月に逝去した。

2度にわたる菊田一夫演劇賞特別賞をはじめ、日本演劇協会功労賞、浅草芸能大賞の受賞、さらに昭和52年紫綬褒章、昭和59年には、勲四等旭日小授章の栄誉に輝き、平成2年9月には函館市が創設した「函館市栄誉賞」の第1号受賞者となった。

芸名の益田喜頓はアメリカの喜劇俳優バスター・キートンに由来している。

◆市民会館・芸術ホールで催しを企画されている市民の方へ

「市民舞台芸術奨励事業」と「益田喜頓賞」のお知らせ

公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団では、函館市民が行う優れた舞台芸術活動を支援・奨励するため、市民舞台芸術奨励事業ならびに益田喜頓賞の候補作品を募集しています。

★市民舞台芸術奨励事業とは……

市民会館または芸術ホールで市民が行う優れた舞台芸術活動を広く奨励し、地域の芸術文化の向上を目的に市民舞台芸術奨励事業を認定しています。

◆ 対象となる事業は

函館市内に活動の本拠を置く団体・個人が市民会館または芸術ホールを会場に行う公演で出演者の過半数が函館市民であること、さらに次の項目の一つに該当するもの。

- ① 新しい企画をもって、舞台芸術の創造を行なっていくもので、定期的な公演や演奏会は除きます。
(ただし、各団体が企画する公演で、5周年、10周年などの活動の節目として行われる記念公演で、特に創造性の高いものは対象にしています。)
- ② 各ジャンルの中で、複数の団体等の集合体により、お互いのレベルの高揚を図るために企画された公演
- ③ 長年にわたって舞台芸術活動を続けて、その集大成的な発表等をするもの及びその功績を顕彰するために企画された公演
- ④ 上記の他、市民舞台芸術奨励事業委員会（財団に設置された諮問委員会）が特に市民の芸能・舞台芸術の向上などに資すると認めるもの

◆ 応募された公演は

市民舞台芸術奨励事業委員会で内容を審査し、市民舞台芸術奨励事業として認定するか否か決定します。

◆ 応募申請期限

公演の実施時期に拘わらず、前年度の3月5日が応募申請の期限となります。

例：令和7年4月～令和8年3月の公演は令和7年3月5日が申請期限

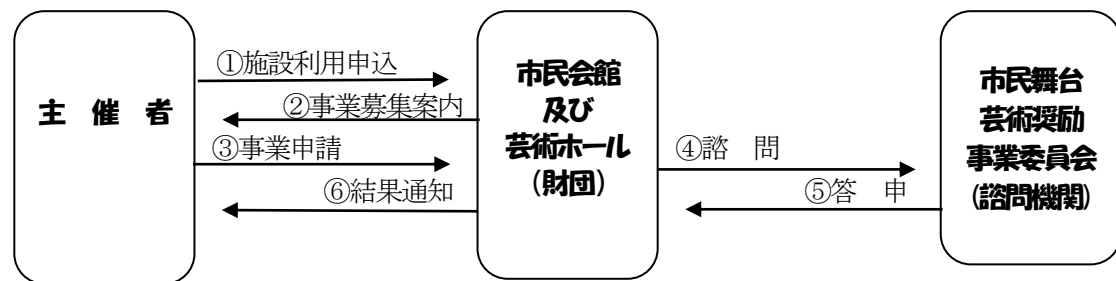
(詳しくは芸術ホールまたは市民会館までお問い合わせください。)

◆ 認定された場合は

公演当日の施設の使用料金が免除されます。

また、当該事業のポスター・チラシ・プログラム等に財団との共催事業、市民舞台芸術奨励事業の認定事業である旨の記載をお願いします。

○市民舞台奨励事業の申請(応募)手続と審査の流れ



★益田喜頓賞とは……

函館出身で演劇・舞台で活躍された故「益田喜頓氏」にちなみ、毎年、前年度に函館市民会館と芸術ホールで実施された事業で応募のあったものの中から、市民舞台芸術奨励事業委員会（財団の諮問機関、以下「委員会」という。）が審査し、函館の舞台芸術分野において優れた活動を行った団体および個人に対して「益田喜頓賞」を贈り表彰しています。公演実施前に応募していただいたものの中から、委員会が候補作品として選定し、候補作品の公演本番を鑑賞した上で、翌年度の委員会において「益田喜頓賞」を選考いたします。

◆ 対象となるもの

函館市内に活動の本拠を置く団体または個人が行うもので、函館市民が主体となった公演であるもの。

◆ 応募申請期限

公演の実施時期に拘わらず、前年度の3月5日が応募申請の期限となります。

例：令和7年4月～令和8年3月の公演は令和7年3月5日が申請期限

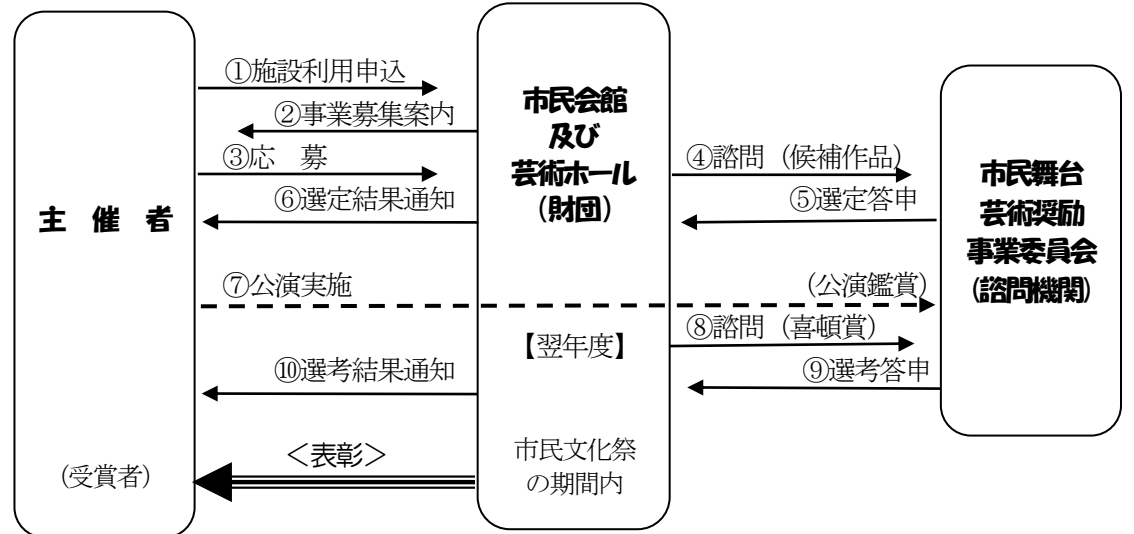
◆ 候補作品に選定された場合は

益田喜頓賞の候補作品に選定された場合は、当該公演を審査するための入場券（12枚）を財団に提供していただくこととなります。また、当該公演終了後には、当該公演内容を撮影した映像（一般的DVD再生機で再生可能なDVD）を提出していただくこととなります。※ブルーレイディスク不可

◆ 喜頓賞に選考されると

11月の市民文化祭の期間内に「益田喜頓賞」表彰式を行い、記念の盾（レリーフ）と賞状を贈り、永くその栄誉を称えます。

○益田喜頓賞の申請(応募)手続と審査の流れ



※ 不明な点につきましては、函館市民会館（電話57-3111）または函館市民芸術ホール（電話55-3521）までお問い合わせください。